

# 小学校 第6学年 社会科学習指導案

北海道北見市立三輪小学校  
主幹教諭 佐野 正樹

**単元名** 地球規模の課題の解決と国際協力（7時間）

**単元の  
ねらい**

- グローバル化する国際社会における日本の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 国際社会における日本の役割や地球規模の課題の解決に向けた取り組みの相互の関連や意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 国際社会における日本の役割について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、平和を願う日本人として世界の国々の人々とともに生きることの大切さについての自覚を養う。

**本時の  
ねらい**

地球環境をめぐるさまざまな問題を調べ、その解決に向けた国際協力の必要性や、持続可能な社会をみざすことの重要性を捉える。(第5時)

**指導時期**

2月上旬～3月中旬

## 指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

『地球規模の課題の解決と国際協力』は、地球規模の問題を解決するためには国際的な協力が必要であることをつかませ、国際連合の活動の重要性や日本の役割について多面的・多角的に捉える単元である。

「指導者用デジタル教科書(教材)」のよさとして、一斉指導の場面で関連した資料を容易に提示しやすい点があげられる。教科書にある図や写真を大きく提示することで、学習に必要な内容を一斉指導の場面で適切に読み取らせることができるようになる。また、ペンツールを用いて写真に書き込むことで、着目してほしい部分を強調することができる。なお、ペンやマーカーを使用した場合は、その内容が保存されるため、次の学習などで使用する場合にすぐに参照できることもよさとして考えられる。

このように、同一の資料について、他者の視点も取り入れながら多面的・多角的に検討・吟味する学習活動に取り組みやすい利点を生かして「指導者用デジタル教科書(教材)」を活用したい。

## 本時(第5時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。</li> </ul>	

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「資料ア 地球温暖化の被害（ツバル）」の写真から気づいたことを話し合い、課題を立てる。</li> <li><b>T</b>：この写真はどんな場面ですか。</li> <li><b>C</b>：海水浴をしている場面かな。</li> <li><b>T</b>：写真の題名を表示しますね。題名は「地球温暖化の被害（ツバル）」です。見え方が変わりましたか？</li> <li><b>C</b>：国土の浸水とあるから、もとは地面だったところなのかな。</li> <li><b>C</b>：建物の壁がはげているところ（赤の囲み部分）まで水につかったんだよ。ここまで水があるなら、住めないよ。</li> <li><b>T</b>：この問題以外にも地球環境に関わるさまざまな問題がありそうですね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●はじめは写真のみを提示し、どのような場面であるかを自由に発言させる。その後、「資料ア 地球温暖化の被害（ツバル）」を表示し、壁の色の違いに着目することで、海水面が上昇したために国土が浸水していることに気づかせる。</li> </ul> <div style="text-align: right;">  <p>題名を表示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ペンツールの活用</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「資料ア」の建物の壁がはげている部分をペンで囲むことで、全体で視点を共有することができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>地球環境を守るために、人々はどのような努力をしているのだろう。</p> </div>

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
--	------	---------------

● 環境問題を解決するための取り組みについて調べる。

**T**：今、世界各地で起きている環境の問題には何がありますか。

◎：「資料イ」の干ばつの問題があります。

◎：大気や水の汚染の問題です。「資料ウ」の写真では、霧がかかっているみたいです。

**T**：問題を解決するために、どのような取り組みが行われているのでしょうか。

◎：国際会議で話し合っています。

◎：NGOも協力しているね。

◎：国連総会で持続可能な開発目標（SDGs）が採択されました。

展開

● 「資料イ・ウ」を提示する。

干ばつによって干上がった土地と水を運ぶ人(インド)

汚染された大気によってかすんで見えるまち(中国)

ていることが、地球です。温暖化の他に大気や水の汚染などおよぼしています。こうした環境問題でできるという問題で

● 「指導者用デジタル教科書（教材）」に掲載されている動画にアクセスし、視聴する。

NHK For School 持続可能な社会をむかへ

わたしたちの暮らしや産業活動は、大量のエネルギーによって成り立っています。しかし、それが地球化させる大きな原因になっており、現在の暮らしは、いくと、将来の世代が大きな被害をこうむることにいます。また、世界の人人々がともに豊かに暮らすためある資源から得られる利益がすべての国の人人々に公平るしくみを考えていくことも大切です。

2015（平成27）年、創設70周年をむかへて国連総会が持続可能な開発目標（SDGs）が採択さ

SDGsとは  
2015年に国連の会議で採択された「SDGs」、どれもが安定して暮らし続けられるように考えられた国際的な目標で、2030年までに達成することを目標としています。

持続可能な社会をむかへるために、各国の政府や民間の組織などが協力して話し合いをしている。また、持続可能な開発目標（SDGs）を設定している。

● 地球環境を守ることの大切さや、自分たちの暮らしとの関わりについて考える。

**T**：持続可能な社会をむかへるために、私たちにできることについて、思考ツールを使って整理しましょう。

◎：プラスチック製ごみを出さないようにしたい。

◎：ユニセフ募金に協力するようにしたいな。

まとめ

● 「思考ツール（座標軸）」を活用し、できることについて整理する。

【持続可能な社会をむかへるためにできること】

他の人の助けが必要なこと

ユニセフの活動を募金で支援する

二酸化炭素を出さないようにする

すぐできること

時間がかかること

自分のできること

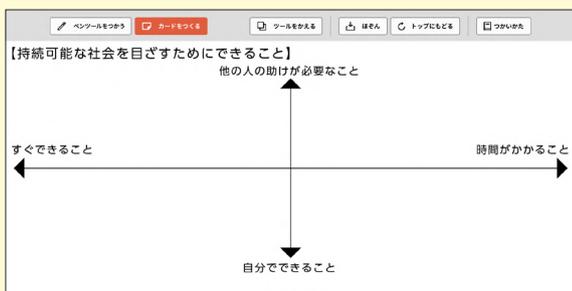
## 指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られた効果



児童が発表する際、着目した箇所（ここでは壁がはげているところ）を教師がペンツールで示す。このことで、示したい部分が焦点化され、全ての児童が確認できる。一斉指導の場面で写真や図表、グラフを扱う際にも、ペンツールを使って焦点化することで、全員が強調したい部分を確認できる。このように、他の児童が着目した点を同じ資料で共有することは、さまざまな視点で資料を見ることを意識させることにつながる。

このような指導を繰り返すことは、資料を多面的・多角的に捉え、思考する力を育成することにつながる。

なお、ペンツールを使用する際は、タブレット端末で直接操作するほうが、マウスを使用するよりも扱いやすい。



また、本時では、「思考ツール（座標軸）」を使用して児童の意見を整理する。自分の意見が座標のどのあたりに位置づけられるか、考えながら配置することで、比較・分類したり整理したりする力を育成する。

さらに、「指導者用デジタル教科書(教材)」に付属しているワークシートの発問を授業で活用する。今回の授業での展開における教師の発問は、ワークシートの「①今、世界各地で起きている環境の問題について調べましょう。」を参考にしている。「指導者用デジタル教科書(教材)」の該当箇所にアイコンで表示されているため、授業での活用場面を意識しやすく、授業構想にも役立ち、働き方改革の一助となる。